

自己評価・学校関係者評価 報告書

おおぶち そよ風こども園

1、本園の教育・保育目標

「げんきなからだ かんがえるちから やさしいところ」の教育目標に向けて、温かい雰囲気の中で子どもが安心して過ごし、豊かな環境の中で様々な体験を通して学びを支える。

2、本年度の園評価の具体的な目標や計画

- ・保護者や地域に向けて情報発信をすることで、園の様子を伝えたり、保護者の安心感を高めたりする。
- ・行事については、1号認定児、2号認定児、3号認定児やその保護者のそれぞれの立場や考えを十分に理解した上で、子どもの経験値を高めて様々な力を育成するための行事となるように努める。
- ・園内研修を通して、危機管理等の園の基本的な事項について、話し合いや研修を行い共通理解をする。

3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	理由
1、園の基本事項について 職員の共通理解を図る。	B	アレルギー、減災教育、午睡、見落とし防止、誤嚥・誤飲防止等の危機管理についての研修を強化したことで、職員間の共通理解ができ、意識が高まったと思う。今後も教育・保育の充実を図る為に、園内研修や外部研修を活性化していきたい。
2、行事を通して、子どもと 保護者の満足度を高める。	B	昨年同様に配慮したことで、保護者も子どもも行事を満足することができた。今年度は、子どもが主体となって進める行事となるように工夫したことで、子どもの主体性が高まった。今後も子どもが中心となるような行事のあり方を考えていきたい。
3、保護者や地域の方への情報 発信をすることで、安心感 を高める。	B	保護者への情報発信のために、メール配信の機会や、交流等の写真の掲示を増やしてきたことで、保護者の安心感が高まってきた。しかし、情報発信が遅いと感じる保護者もいるため、今後は今までよりも早めに行うようにしていきたい。

4、本年度の園評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	今年度は、危機管理に特化した話し合い、研修、子どもへの減災教育等を行ってきたことで、職員の危機管理能力や意識が高まってきた。 昨年同様、子ども一人ひとりを大切にした教育保育を行いながら、子ども主体の行事となるように様々な工夫をしてきたことと、保護者や地域の期待に応えるために、配信、掲示の機会を増やしてきたことで、保護者の安心感を高めることができた。しかし保護者の中には、コドモン（登校園管理システム）が上手く作動しなかったり、お知らせの発信が遅いと感じたり、園内の施設の使い方に困惑していたりすることがあるため、改善していき、保護者が心地よく利用することができるようにしていきたい。

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
職員の資質向上を図る。	危機管理能力の向上と、子ども主体の保育の充実、環境構成能力の向上を目指す。
保護者や地域の満足感を高める。	保護者や地域の方が、安心して預けて気軽に子育ての相談ができるような安心感のある環境を整え、保護者や地域のニーズに応えた子育てや教育・保育を行っていく。
保護者や地域の方への情報発信をすることで、安心感を高める。	保護者や地域の方への情報発信は出来る限り早めに行い、図や写真で示す等、誰が見てもわかりやすくすることで、安心感を感じられるようにしていく。

「3. 4」の評価結果の表示方法

評価	結果の表示
A	十分に達成している
B	ほぼ達成している
C	取り組んでいるが、成果が十分ではない
D	取り組みが不十分である